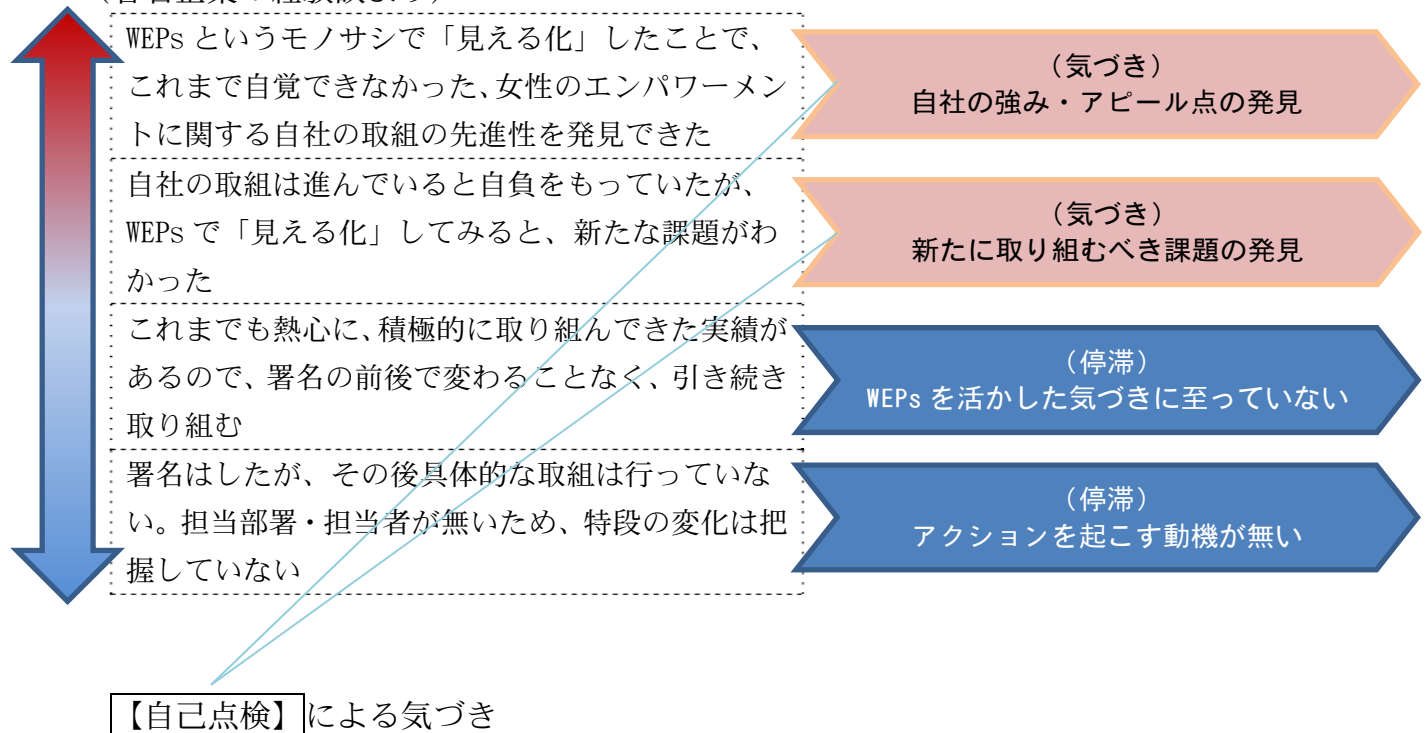


WEPs「問診票」による自己点検について

WEPs
原則 7Transparency, Measuring and Reporting
(透明性、成果の報告、測定)

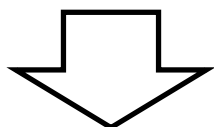
WEPs 署名企業等は、署名を通して何が変わる（変わった）のか？

(署名企業の経験談より)



WEPs を用いた自己点検のメリット

- 女性のエンパワーメント促進に関する総合的な視点が含まれていること
→ 今まで認識が不十分であった部分を理解することができる
- 国際的に共通した7原則に基づくこと
→ グローバル視点で自社の企業活動を評価することができる
- ジェンダー視点を手がかりに、サプライチェーン（原則5）・地域（原則6）といった要素に目を向けること
→ 企業活動の多様な側面を点検・評価することを通して、CSR 等に新たな戦略を生み出す可能性がある



自己点検によるメリットをできるだけ多くの署名企業等が理解・実践し、気づきと経営改善を進めることが、国内における女性のエンパワーメント促進に寄与する

⇒ 本チームとして、標準的な自己点検ツール（＝「問診票」）を開発

「問診票」のポイント

① 点検が簡便に行えること

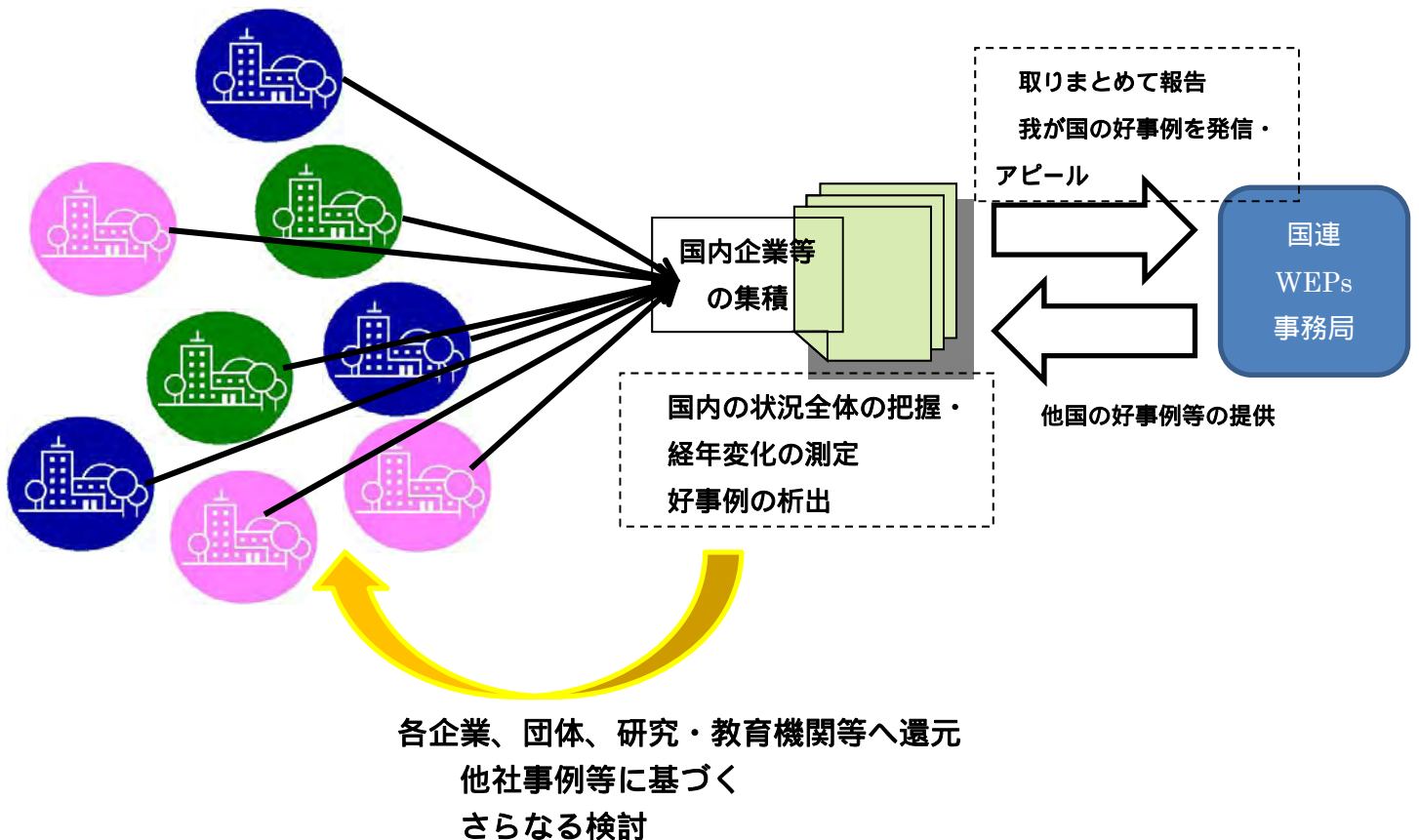
- ・これまでアクションを起こす動機が無かった企業等に対し、きっかけとなることが期待される。そのため、高度・難解な内容は避ける。
- ・既に自己点検を進めている企業等は、CSR 報告書での記載・様々な報告の場等における取組が進んでおり、重複する作業負担にならないようにする。

② 我が国の現状に即していること

- ・WEPs は国際的に共通した枠組みであるため、中には我が国の企業活動において生じえない／当然に行われている事項が存在する。それらは点検項目から除外する。
- ・原文（英語）の趣旨を逸脱しない範囲で、国際基準に合致しながらも、可能な限り我が国で広く通用する表現に置き換える。

③ 持続的な点検活動が可能であること

- ・ほぼ全ての項目を3段階評価にすることにより、経年比較による自社の理解促進・取組推進を簡便に見ることができる。
- ・定性的な記述欄を設け、自社の新たな取組を報告することにより、毎回の取組進化を着実に見出すきっかけとなる。



平成 25 年度の「問診票」活動の実施について

- ◆ 初年度は、チームが UN Women 日本事務所等と協力して「問診票」を国内各企業に配布、記載と提出を依頼。
(企業からの質問等に対応するとともに、質問等は以降の改善材料として蓄積)
- ◆ 結果を取りまとめ、国連 WEPs 事務局に報告。取りまとめ結果として得られた好事例等を国内企業等に還元する取組を、チーム活動として行う。

